

# 平成30年度環境問題に関するアンケート調査結果(概要)【団体】

## 1. 調査の概要

### 1. 1 調査の目的

群馬県では、平成 28 年 3 月に策定した「群馬県環境基本計画 2016-2019」に基づいて、良好な環境の保全と創造を実現するための施策を総合的に実施している。本計画が平成 32 年 3 月で終期を迎えることから、現在これに続く新計画の策定作業を進めている。

本計画の策定に当たり、県民、事業者、関係団体の環境問題に関する意識等を把握するため、アンケート調査を行ったもの。

### 1. 2 調査の方法

#### (1)調査対象

群馬県内で活動する環境関係団体 113 団体

#### (2)調査方法

メール配布、メール回収

#### (3)調査期間

平成 31 年 3 月 1 日～3 月 15 日

### 1. 3 回収状況

調査対象とした 113 団体のうち、有効回答(分析に用いることができた回答数)は 46 件で、有効回収率は 40.7%であった。

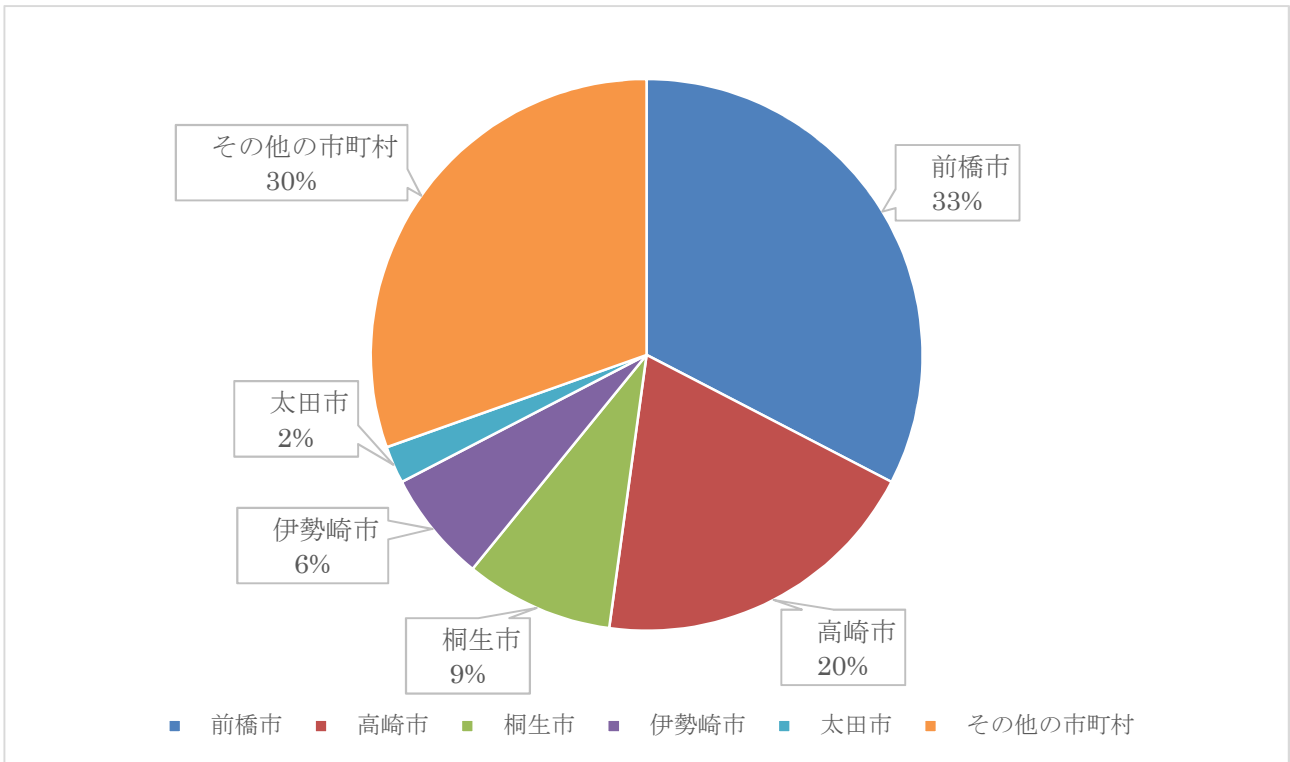
## 1. 4 調査項目概要

質問項目	ねらい
<b>【団体に関する質問】</b>	
問1 団体の所在地(事務所)	・団体の所在地(事務所)を把握。
問2 団体の会員数	・団体の会員数を把握。
<b>【取組】</b>	
問3 実施している環境活動等	・実施している環境活動等を把握し、団体の活動状況を確認する。
問4 環境活動(イベント・講演等)で対象としている層や参加者の規模	・環境活動(イベント・講演等)の対象と参加者の規模を把握し、団体の活動状況を確認する。
問5 環境活動の実施頻度	・環境活動の実施頻度を把握し、団体の活動状況を確認する。
問6 環境活動を進める上での問題や課題	・環境活動を進める上での問題や課題を把握し、支援策等の検討材料とする。
<b>【環境問題に対する関心】</b>	
問7 現在の活動以外で関心を持っている環境分野	・現在の活動以外で関心を持っている環境分野を把握し、今後の取組等の参考とする。
<b>【会員等の研修】</b>	
問8 団体で行っている研修や会員の研鑽を高める活動等	・団体で行っている研修や会員の研鑽を高める活動等を把握し、団体の活動状況を確認する。
<b>【行政への要望】</b>	
問9 環境保全に関して行政に期待すること	・環境保全に関して行政に期待することを確認する。
<b>【その他】</b>	

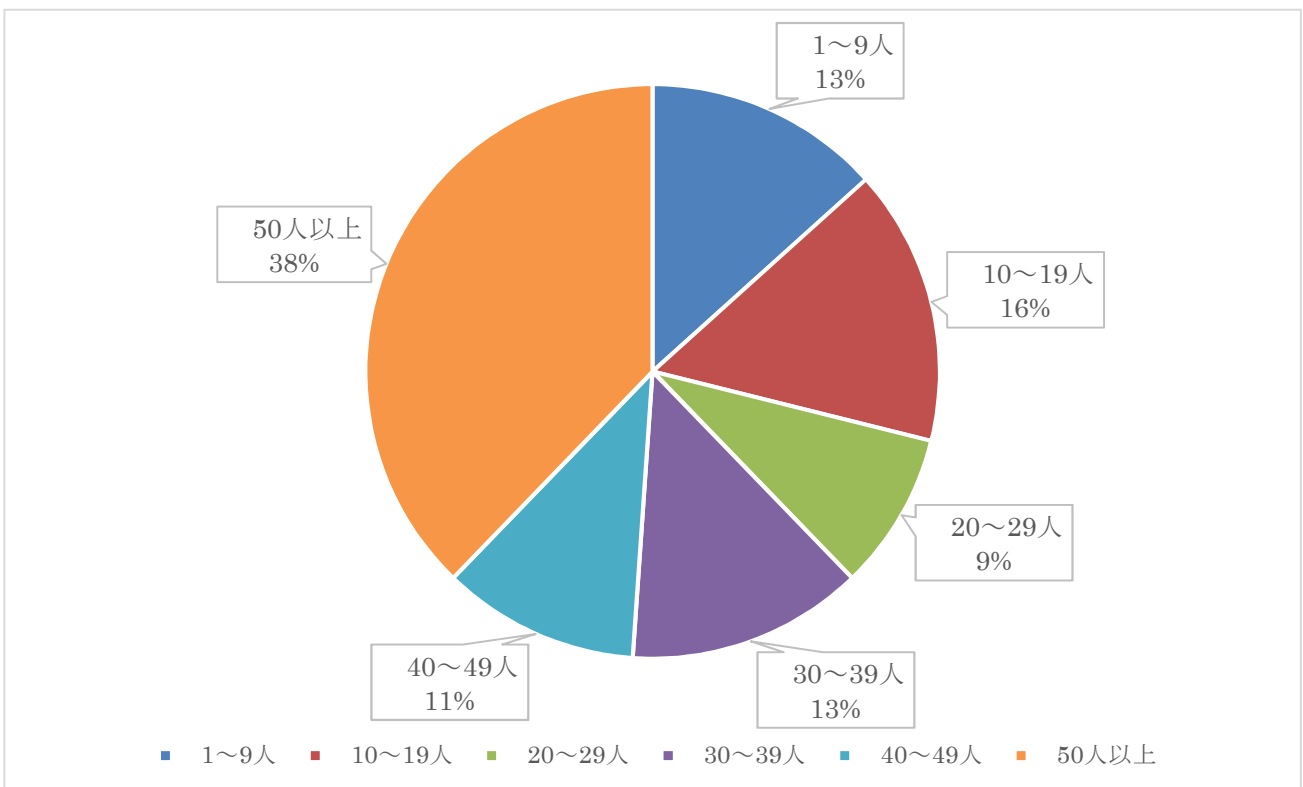
※ 団体に対する調査は今回初めて実施したため、経年変化による比較は行っていない。

## 2. 回答者属性

### (1)所在地(事務所)



### (2)会員数



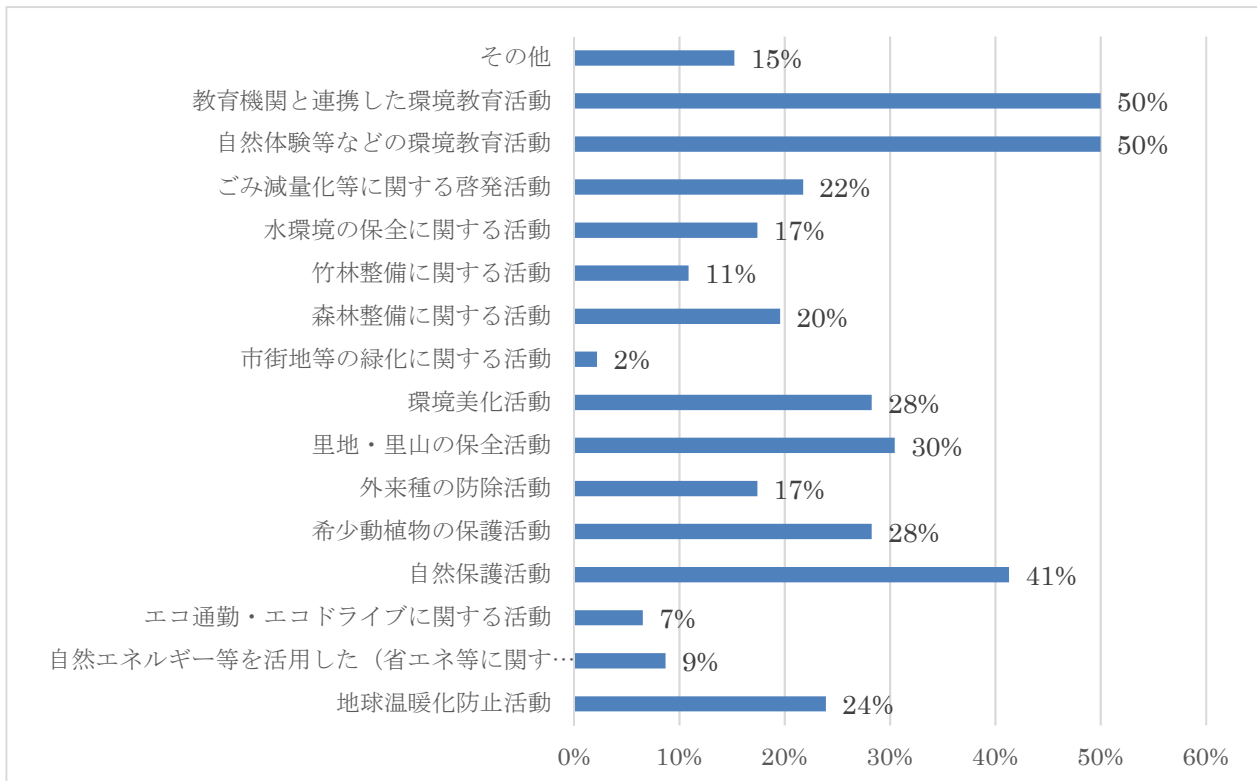
### 3. 調査結果

#### 3. 1 調査項目別要旨

##### I 取組

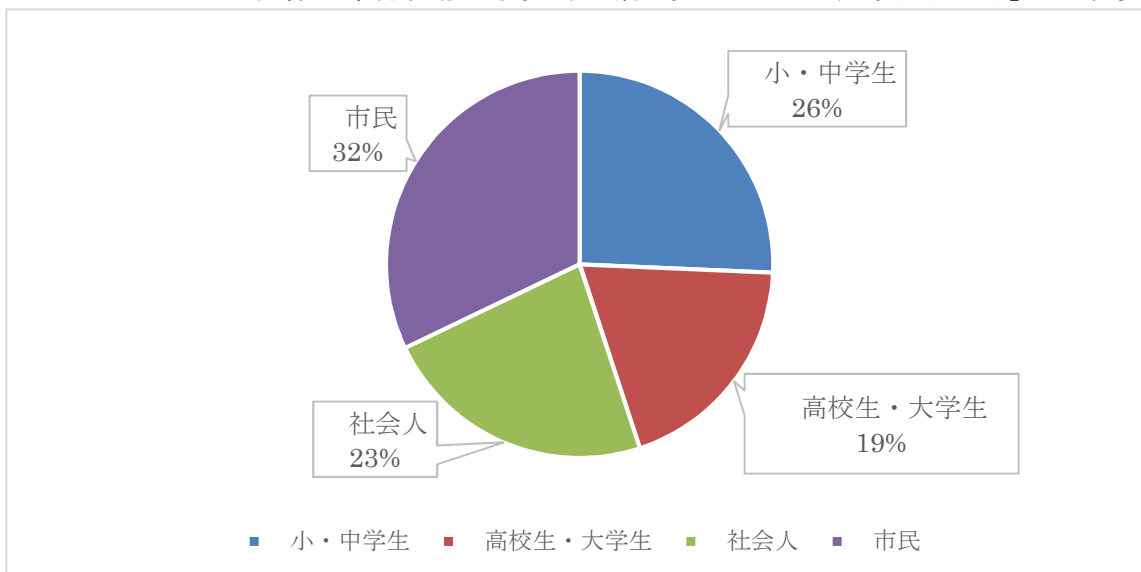
□ 団体が実施している環境活動の中で多かったのは、「教育機関と連携した環境教育活動(50%)」「自然体験等などの環境教育活動(50%)」「自然保護活動(41%)」。

##### (1)30年度の傾向



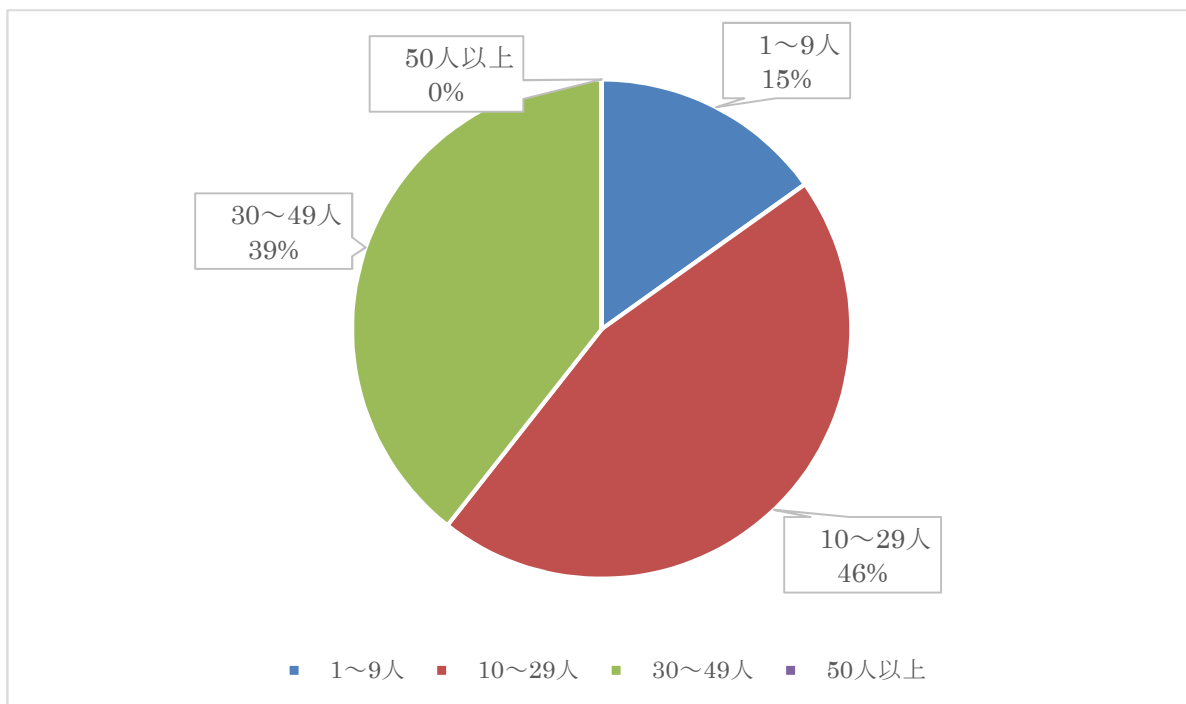
<グラフ1 団体が実施している環境活動 >

□ 団体の環境活動で対象とする層で多かったのは、「市民(32%)」「小・中学生(26%)」。



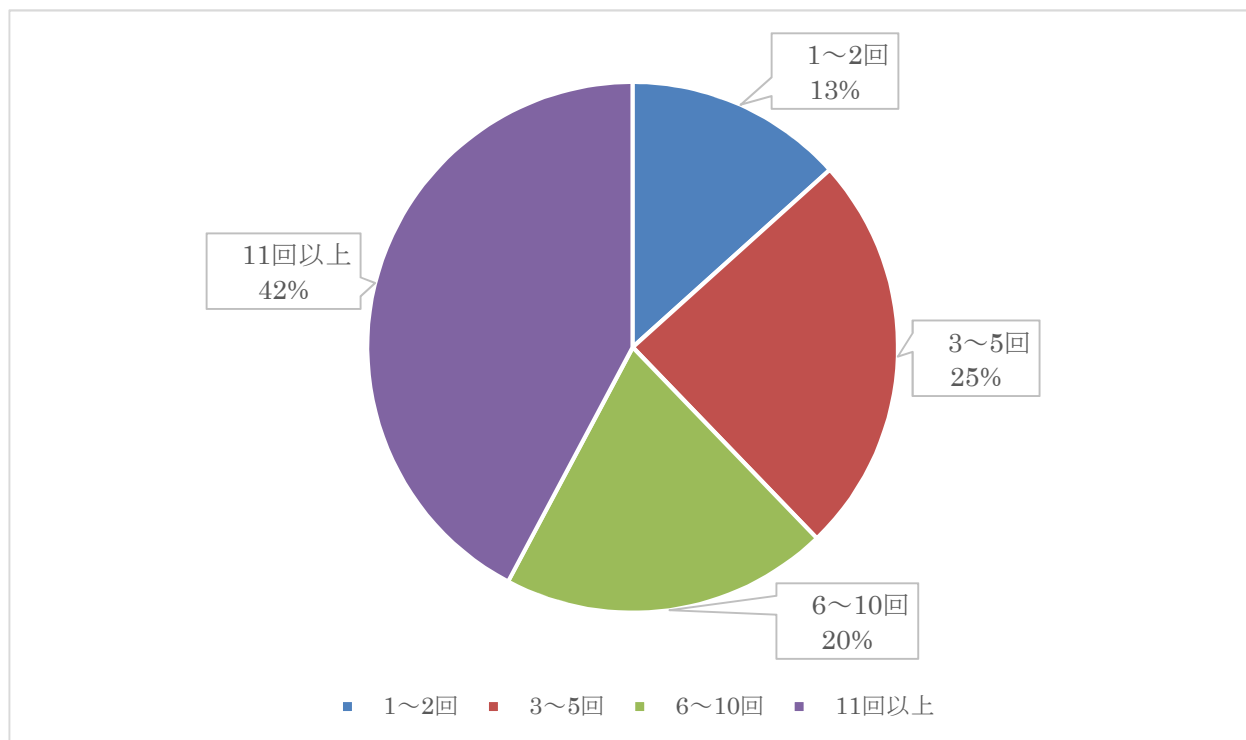
<グラフ2 団体の環境活動で対象とする層>

□ 団体の環境活動の参加者規模が多かったのは、「10～29人(46%)」「30～49人(39%)」。



<グラフ3 団体の環境活動の参加者規模>

□ 団体の環境活動の年間回数が多かったのは、「11回以上(42%)」「3～5回(25%)」。

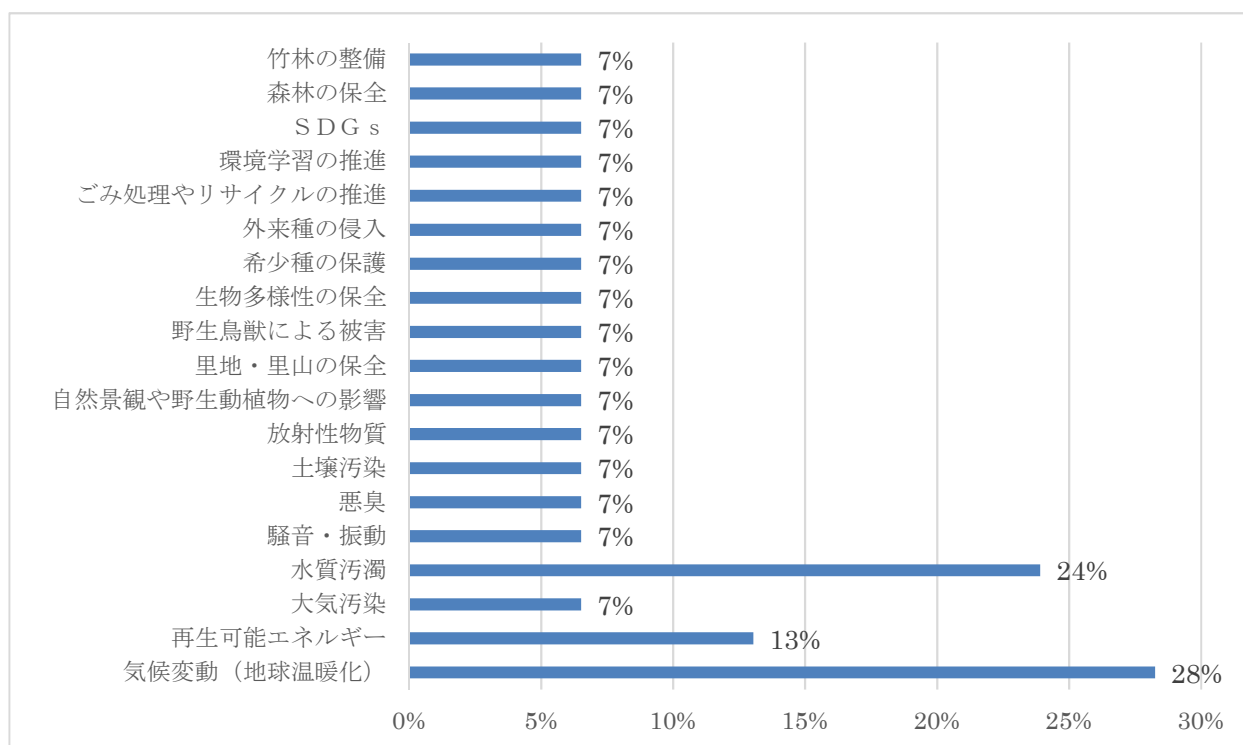


<グラフ4 団体の環境活動の年間回数>

## II 環境問題に対する関心

□ 団体が関心のある環境関係の話題で多かったのは、「気候変動(地球温暖化)(28%)」「水質汚染(24%)」「再生可能エネルギー(13%)」。

### (1)30年度の傾向

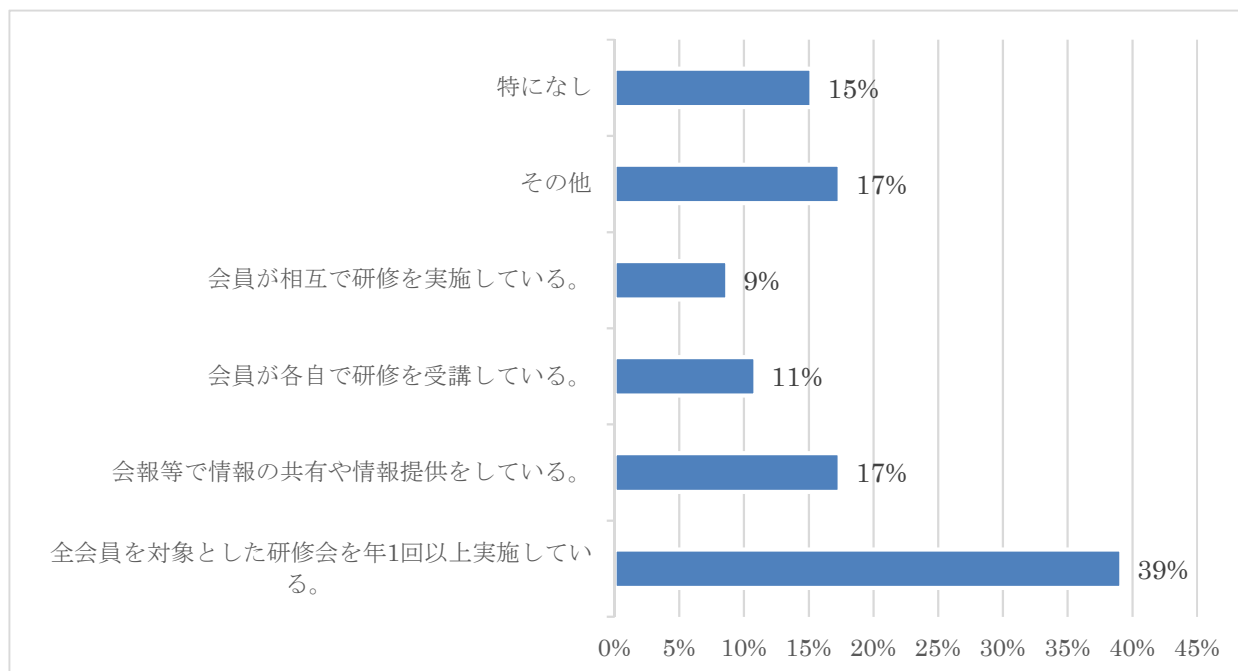


<グラフ5 団体が関心のある環境関係の話題>

## III 会員等の研修

□ 団体で行っている研修や会員の研鑽を高める活動等で多かったのは、「全会員を対象とした研修会を年1回以上実施している(39%)」「会報等で情報の共有や情報提供をしている(17%)」。

### (1)30年度の傾向



<グラフ6 団体で行っている研修や会員の研鑽を高める活動等>